

## 議事概要

件名	第7回 土気踏切勉強会		
開催年月日	2023年2月28日(火) 17時00分～18時15分	場所	土気公民館
主催者	JR千葉支社・千葉市		
出席者	JR東日本千葉支社千葉保線設備技術センター、千葉市道路計画課 土気本町一組町内会、山の谷自治会 楓台自治会、梅ヶ丘自治会、土気南中央町内会		
打合せ内容			
1 開会挨拶 2 議事 (1) 非常停止ボタンの押下訓練の結果 (2) 土気踏切周辺道路の課題等取りまとめ (3) その他			
(1)非常停止ボタンの押下訓練の結果  ・踏切の非常停止ボタンの使用方法について、日頃踏切を利用されている皆様にご理解いただくため、模擬の非常停止ボタンを使用した押下訓練を以下のとおり実施した。  ・日時:2月16日(木)、2月18日(土)の2日間、両日ともに午前10時～11時25分 ・参加者数:16日(木) 14人(大人12人、子ども2人) 18日(土) 33人(大人22人、子ども11人)  ・JR・市の感想 ・土曜日には、子供連れのご家族など、多く方にご参加いただいた。 ・日頃、踏切を利用されている方が、非常停止ボタンを押す体験をしていただき、「危ない!」と思ったときに、躊躇なく非常停止ボタンを押してもらうことをご理解いただく、良い機会となったと考えている。			
<b>【地元からの意見】</b> ・現場で要望したことについて、真摯に検討していただき、ありがたい。 ・夜間は、非常停止ボタンが認識しづらい。地元の人でも分からない人がいると思うので、照明の位置を変えるなど、目立つようにした方がいいと思う。 ・踏切の照明は、深夜には人も電車も通らないので、節電のために照明は消灯してもいいのではないか。			

### 【市・JR からの所見】

- ・非常停止ボタンがより分かりやすいよう、何が出来るか考えていきたい。
- ・踏切内は、原則、一定の明るさになるよう、照明を設置している。
- ・非常停止ボタンがより押しやすくなるよう、足元の改善やボタンの高さの見直しについて検討しているところ。可能な限り対応したい。

### (2)土気踏切周辺道路(大網街道・土気町 47 号線)の課題等取りまとめ

- ・第4回～第6回の勉強会で周辺道路の歩道を動画で確認していただき、皆様から頂いたご意見をはじめ、市で確認した歩道幅員や課題等を取りまとめた。

#### ・資料

- ・大網街道及び土気町 47 号線の歩道幅員、歩道の急勾配、その他課題に関する位置図及び写真

### 【地元からの意見】

- ・資料はよくまとめられていると思う。
- ・大網街道は街灯が少なく、暗いことも課題であるため、資料の中で触れてほしかった。
- ・段差は、写真では分かりづらい。「段差」を伝える資料であれば、横から撮るなど撮り方を工夫すべき。
- ・土気町47号線の歩道がない箇所は、歩くスペースがとても狭い上にすぐ脇に縁石があり、非常に歩きづらい。
- ・すぐ脇を大きな車が通ることもあるため、万が一、段差で躓いて転倒したらと考えると怖い。幅員だけでなく、このような状況も資料の中で触れてほしかった。
- ・U字溝の間隙は、足や杖がはまることもあり課題のひとつ。数が多いため高齢者や足が不自由な人などにとって、踏切内のレール間の溝よりも危険だと思う。
- ・土気町47号線の歩道がない箇所の道路境界はどうなっているのか。
- ・勉強会の中で、土気地区内の道路の課題が明確になり、やってきてよかった。市側も課題の認識にとどまらず、今後の対応について検討してほしい。

### 【市・JR からの所見】

- ・写真の撮り方や資料のまとめ方など皆様に伝わりやすい資料作りに努めたい。
- ・大網街道の側溝は、旧来の構造形式のため、アップダウンを繰り返す、いわゆる波乗り歩道になっており、勾配が急である。  
なお、現在の構造基準では、ご高齢者や身体障害者の方にも配慮したものとなっており、勾配が緩やかになるような構造形式になっている。
- ・土気町47号線の歩道がない箇所は、ご意見のとおり幅が狭い上に、交通量があるため、調査する際もとくに歩きづらさを感じた。
- ・蓋形式の側溝は、蓋を外したり管理が必要なため、穴が空いた構造となっている。

- ・土気町47号線の歩道が無い区間は、道路境界と照らすと、法面部分も道路区域に含まれると思われ、歩道を整備できる可能性はある。
- ・土気踏切の地元説明会を開催後、説明が十分ではないなどのご意見があったことから、勉強会の設置に至り、皆様のご協力のもと、踏切の課題だけでなく、迂回路の課題も取りまとめることができ大変よかった。
- ・大網街道や土気町47号線についてこれらの課題があることは認識しており、対応策を検討しているところ。
- ・これら対応策は、勉強会で決定するのではなく、市がしっかりと方針を皆様に打ち出し、ご説明しなければいけないと考えている。
- ・土気踏切の安全確保も含め、今後どのように対策を進めていくのか、勉強会のみならず、各町内自治会の皆様とも意見交換が行えるよう検討していきたい。
- ・次回は、4月に開催したいと考えている。

### (3)その他

#### 【地元からの意見】

- ・年度が変わり、勉強会メンバーも変わってしまうから、今後の進展が気になる。
- ・勉強会を日中開催とすると出席できない自治会もあると思う。  
開催時間帯は新しい会長の意見を聞くなど、改めて検討することが望ましい。
- ・土気踏切勉強会の資料はどこまで共有しているのか。

#### 【市・JRからの所見】

- ・新年度に会長が変更になる自治会もあると伺っている。  
新たな会長にもこれまでの流れをご理解いただけるよう丁寧にご説明する予定。
- ・開催時間帯は、皆様のご意見を参考に改めて考えたい。
- ・勉強会の資料は、参加いただいている各自治会に回覧をお願いしているほか、土気踏切脇の掲示板や市のホームページにも掲載しており、どなたでも内容を見られるようにしている。

以上